

NY マーケットレポート (2017 年 11 月 29 日)

NY 市場では、序盤に発表された 7-9 月期の米 GDP 改定値が上方修正され、2014 年 7-9 月期以来、3 年ぶりの高水準となったことに加え、イエレン FRB 議長が米経済は力強さを増したとの認識を示し、追加利上げの継続が適切との見解を示したことを受けて、ドルは堅調な動きとなった。また、米ダウ平均株価や米長期金利が上昇したことから円売りが強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きが続いた。その後は、明日の米議会上院本会議で税制改革法案の採決が行われる予定であることや、OPEC と非加盟国による原油の協調減産の延長を巡る協議を控えていることから様子見ムードも強まり、やや限定的な動きが続いた。

2017年11月29日 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	111.45	111.67	111.38
EUR/JPY	132.28	132.32	131.92
GBP/JPY	149.51	149.55	148.67
AUD/JPY	84.59	84.92	84.52
EUR/USD	1.1869	1.1872	1.1839

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	22597.20	+110.96
ハンセン指数	29623.83	-57.02
上海総合	3337.86	+4.21
豪ASX200	6011.12	+26.86
インドSENSEX	33602.76	-15.83

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7393.56	-67.09
仏CAC40	5398.05	+7.57
独DAX	13061.87	+2.34

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	23940.68	+103.97
S&P500	2626.07	-0.97
NASDAQ	6824.39	-87.97

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	111.92	112.15	111.62
EUR/JPY	132.59	132.80	132.12
GBP/JPY	150.06	150.44	149.37
AUD/JPY	84.76	84.82	84.57
EUR/USD	1.1847	1.1866	1.1817

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	15967.72	-61.92
ボルサ指数	47622.93	+393.77
ボベスパ指数	72700.45	-1439.27

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1282.10	-12.80
NY 原油	57.30	-0.69

11/30 経済指標スケジュール

08:50	【日本】10月鉱工業生産
09:00	【ニュージーランド】11月ANZ企業景況感
09:00	【オーストラリア】10月HIA新築住宅販売
09:30	【オーストラリア】10月住宅建設許可件数
10:00	【中国】11月製造業PMI・非製造業PMI
14:00	【日本】10月住宅着工戸数・10月建設工事受注
15:45	【スイス】3Q GDP
16:00	【トルコ】10月貿易収支
16:00	【ドイツ】10月小売売上高
16:45	【フランス】10月生産者物価指数・11月消費者物価指数
17:55	【ドイツ】11月失業率・11月失業者数
18:00	【ポーランド】3Q GDP
19:00	【欧州】11月消費者物価指数
19:00	【欧州】10月失業率
20:00	【南アフリカ】10月電力消費・発電
21:00	【南アフリカ】10月財政収支・10月貿易収支
22:00	【ポーランド】11月消費者物価指数
22:30	【米国】新規失業保険申請件数
22:30	【米国】失業保険継続受給者数
22:30	【米国】10月PCEコア・デフレーター
22:30	【米国】10月個人所得・10月個人支出
22:30	【カナダ】3Q経常収支
23:45	【米国】11月シカゴ購買部協会景気指数

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.76%	1.75%
3年債	1.86%	1.84%
5年債	2.10%	2.06%
7年債	2.28%	2.22%
10年債	2.39%	2.33%
30年債	2.83%	2.76%

ドイツ10年債	0.39%	0.34%
英国 10年債	1.34%	1.25%

11/30 主要会議・講演・その他予定

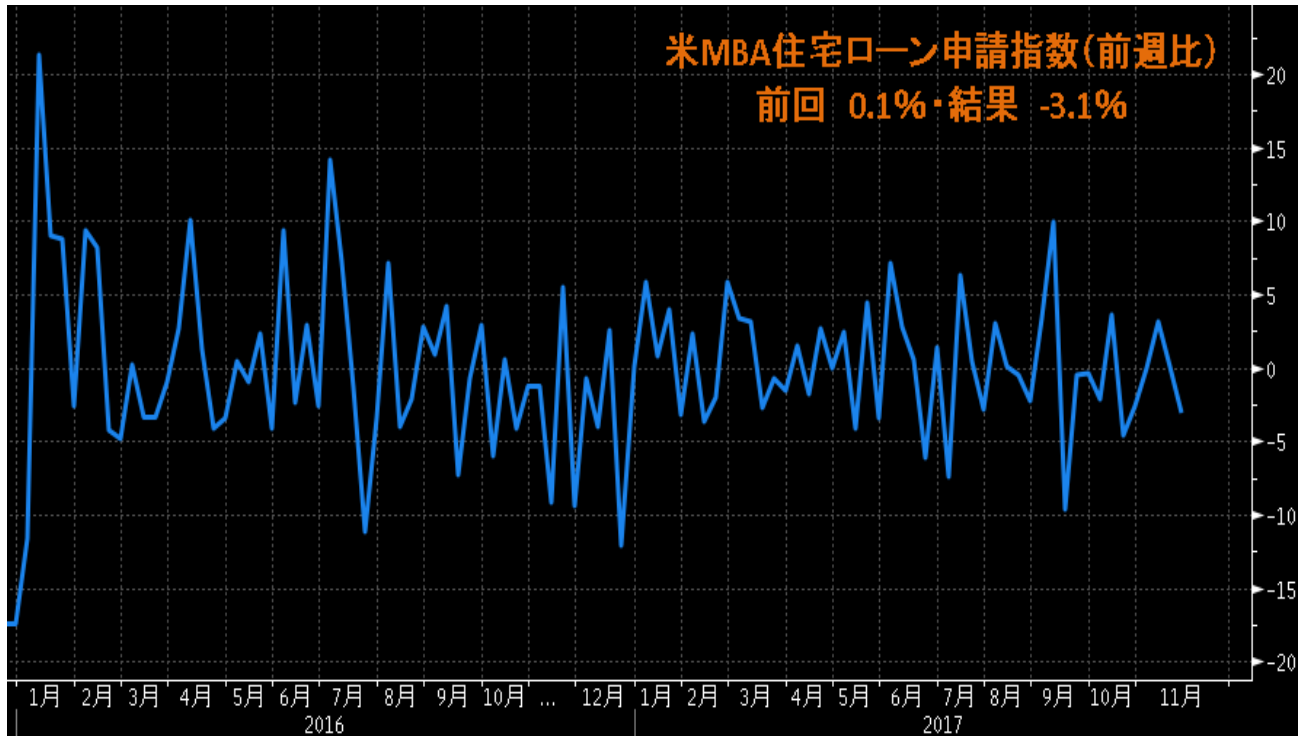
- ・クオールズFRB副議長 講演
- ・ダラス連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

米 MBA 住宅ローン申請指数（前週比） -3.1%（前回 0.1%）



出所 : Bloomberg

指標結果データ

◀ MBA 住宅ローン申請指数 ▶

	11/24	11/17	11/10	11/3	10/27	前年同期
申請指数	-3.1	0.1	3.1	0.0	-2.6	-6.5
購入	1.8	5.3	0.4	0.5	-0.8	4.8
借換え	-7.7	-4.8	6.3	-0.5	-4.5	-18.0
固定金利	-2.8	0.1	3.3	0.2	-3.0	-7.0
変動金利	-6.9	1.4	0.1	-2.7	2.5	0.9

固定金利 30 年 ・ 4.20 ・ 4.20 ・ 4.18 ・ 4.18 ・ 4.22

固定金利 15 年 ・ 3.57 ・ 3.56 ・ 3.54 ・ 3.51 ・ 3.52

22 : 00

◀ 要人発言 ▶

イエレン FRB 議長

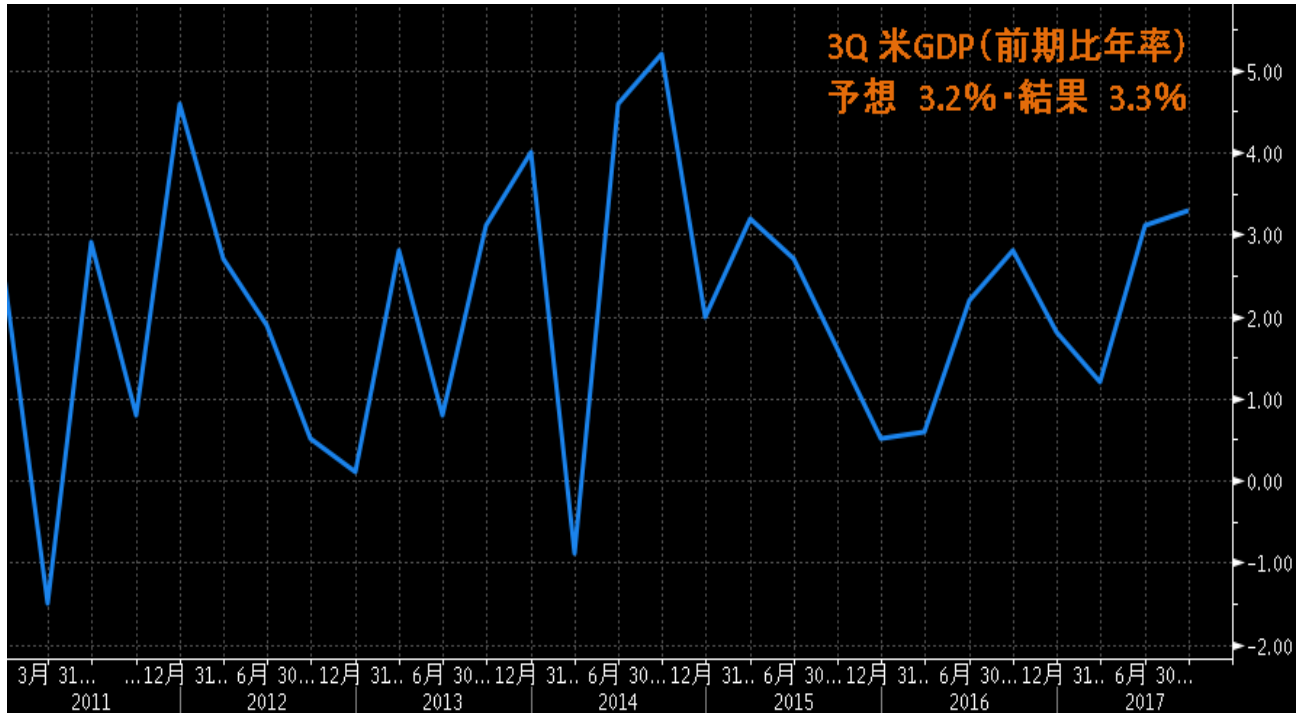
- ・「米景気拡大はますます広がりを見せている」
- ・「金融セクターの脆弱性は大きくなさそうだ」

22 : 30

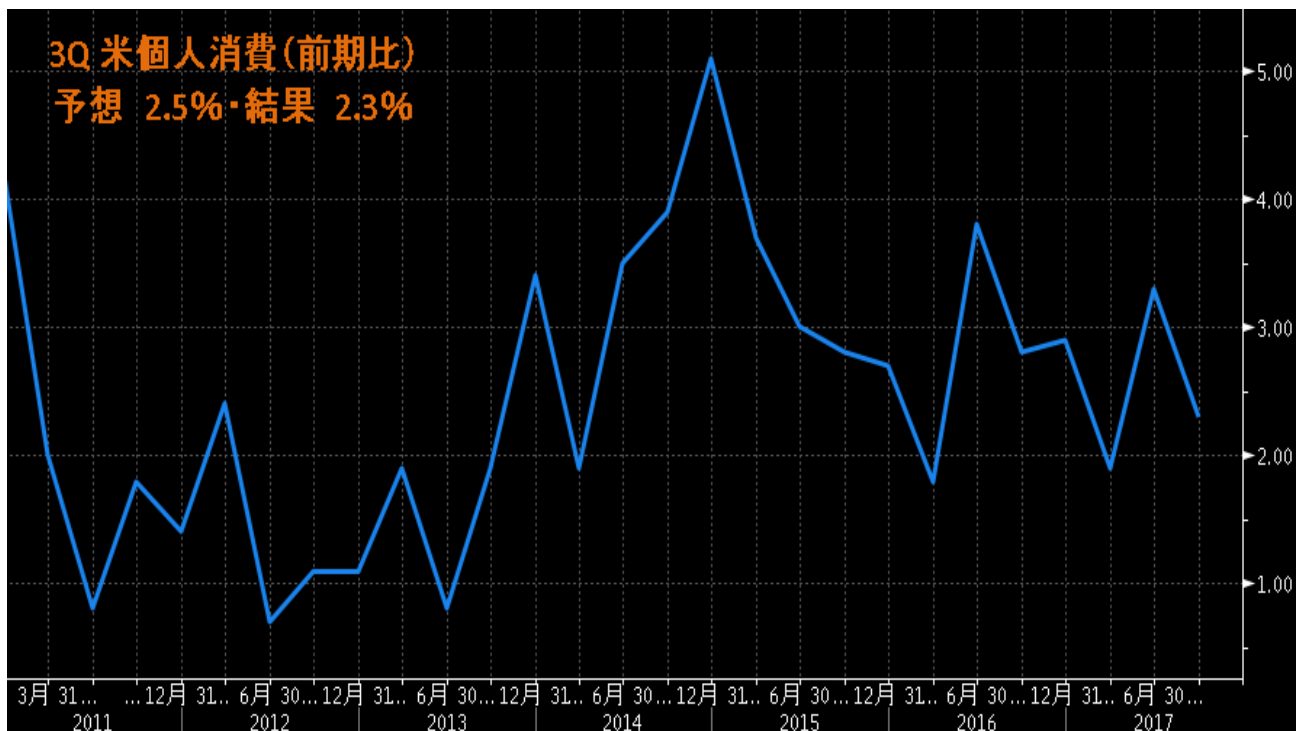
◀ 経済指標の結果 ▶

3Q 米 GDP (前期比年率) 3.3% (予想 3.2%・前回 3.0%)

3Q 米個人消費 (前期比) 2.3% (予想 2.5%・前回 2.4%)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

指標結果データ

《米 GDP》

	3Q 改定	3Q 速報	2Q	1Q	4Q	3Q
GDP	3.3	3.0	3.1	1.2	1.8	2.8
個人消費	2.3	2.4	3.3	1.9	2.9	2.8
耐久消費財	8.1	8.3	7.6	-0.1	9.2	9.4
非耐久消費財	2.0	2.1	4.2	1.1	2.5	0.1
サービス	1.5	1.5	2.3	2.5	2.1	2.7
設備投資	4.7	3.9	6.7	7.2	0.2	3.4
住宅投資	-5.1	-6.0	-7.3	11.1	7.1	-4.5
輸出	2.2	2.3	3.5	7.3	-3.8	6.4
輸入	-1.1	-0.8	1.5	4.3	8.1	2.7
政府支出	0.4	-0.1	-0.2	-0.6	0.2	0.5
最終需要	2.5	2.3	2.9	2.7	0.7	2.6
国内最終需要	2.0	1.8	2.7	2.4	2.3	2.2

7-9 月期の米 GDP 改定値は年率換算で前期比+3.3%となり、速報値の+3.0%から上方修正され、2014 年 7-9 月期以来、3 年ぶりの高水準となった。GDP の約 7 割を占める個人消費が+2.3%（速報値+2.4%）、耐久財が+8.1%（+8.3%）、非耐久財が+2.0%（+2.1%）と速報値から下方修正された。一方、設備投資は+4.7%（+3.9%）、住宅投資は-5.1%（-6.0%）、政府支出は+0.4%（-0.1%）、と上昇修正された。また、輸出は+2.2%となった一方、輸入が-1.1%となった。そして、FRB が物価の目安とする個人消費支出（PCE）物価指数は、前年同期比+1.5%にとどまった。

22 : 50

《 要人発言 》

ダドリー・NY 連銀総裁

・「ビットコインについて、現時点では非常に懐疑的」

0 : 00

《 経済指標の結果 》

10 月中古住宅販売仮契約（前月比） 3.5%（予想 1.1%・前回 -0.4%）
前回発表の 0.0%から-0.4%に修正

10 月中古住宅販売仮契約（前年比） 1.2%（予想 3.0%・前回 -5.7%）
前回発表の-5.4%から-5.7%に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

《中古住宅販売仮契約》

	10月	9月	8月	7月	6月
全米	3.5	-0.4	-2.8	-0.8	1.3
北東部	0.5	1.2	-4.4	-0.3	0.7
中西部	2.8	1.4	-1.7	-0.7	-0.5
南部	7.4	-3.0	-3.7	-1.7	1.5
西部	-0.7	1.5	-1.5	0.6	3.1

(前月比%)

	10月	9月	8月	7月	6月
全米	1.2	-5.7	-3.3	-0.5	0.4
北東部	1.5	-3.8	-5.6	1.6	4.8
中西部	2.2	-5.3	-4.3	-2.1	-2.4
南部	2.8	-6.7	-1.6	1.0	1.2
西部	-3.1	-5.4	-3.8	-3.2	-1.2

(前年比%)

10月の米中古住宅販売仮契約は、市場予想を上回る前月比+3.5%となり、2月以来の高い伸びとなった。大型ハリケーンの影響で前月落ち込んでいた南部が回復したことが押し上げ要因となった。地域別では、南部が+7.4%、中西部が+2.8%、北東部が+0.5%となったが、西部は-0.7%となった。

0:30

《EIA 米在庫統計》

原油在庫・・・343万バレル減少
 ガソリン在庫・・・363万バレル増加
 留出油在庫・・・275万バレル増加
 クッシングの原油在庫・・・291万バレル減少

1:35

《 要人発言 》

イエレンFRB議長

- ・「米経済は拡大が続いた」
- ・「強い経済成長を歓迎する」
- ・「失業率の低下は望ましい」
- ・「緩やかな賃金上昇圧力がある」
- ・「景気の過熱を許せば急激な利上げや景気後退を招きうる」
- ・「生産性の上昇は近年、みじめなほど鈍い」
- ・「物価上昇率の低迷、一時的との認識だが、まだ続く可能性も」
- ・「昨年までの物価の低さは謎ではないが、今年は驚いた」
- ・「物価上昇率が来年か再来年に2%に達すると予想」
- ・「原油やドル相場の動きが物価に影響を与えてきた」
- ・「今後数年間にわたり、緩やかな追加利上げが妥当とみられる」
- ・「中立的な水準に金利を徐々に上げるのは重要」
- ・「ボルカールールは中小金融機関に適用すべきではない」
- ・「ドッド・フランク法は安全で健全な金融システムをもたらしており、後退は大変危険」
- ・「FRBが独立し、政治的圧力から守られるのは重要」
- ・「3人の理事でFRBを運営するのは大変困難」
- ・「財政政策は生産性の向上に注目することが重要」
- ・「財政赤字が持続的かどうか大変心配している」
- ・「米国は全体として開かれた国際貿易環境の利益を受けている」

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 は、英ポンド高が進んだことが嫌気され、輸出関連株を中心に売られた。一方、独 DAX は、米国の税制改革実現への期待感を背景に、堅調な動きとなった。



出所：Bloomberg

3 : 50

《 要人発言 》

ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁

- ・「米インフレは来年に加速する見通し」
- ・「政策金利は今後徐々に引き上げるべきだ」

4 : 00

《米地区連銀経済報告》

- ・「米経済は緩慢から緩やかなペースで拡大」
- ・「見通しにわずかな改善があった」
- ・「年末商戦の見通しは楽観的」
- ・「製造業の活動は拡大した」
- ・「雇用は緩慢から緩やかに伸びた」
- ・「労働市場は広範に引き締め、熟練労働者の採用が困難」
- ・「賃金は緩やかに上昇」
- ・「物価上昇圧力は前回の報告以降に強まった」
- ・「大半の地区で材木など建設資材価格が上 がった」
- ・「交通部門でのコスト増加も」
- ・「石油や天然ガスの価格も上昇」

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 12.80 ドル安の 1 オンス＝1282.10 ドルで取引を終了した。

NY 金は、7-9 月期の米 GDP が市場予想を上回り、ドルが円などに対して上昇したことから、ドルの代替資産とされる金の売りが広がった。



出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 0.69 ドル安の 1 バレル＝57.30 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC と非加盟国による原油の協調減産の延長を巡る協議の不透明感が引き続き圧迫要因となった。ただ、米石油統計で原油在庫が市場の予想以上に減少したことから、買われる場面もあった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、米国の金融規制の緩和や税制改革に対する期待感や、7-9 月期の米 GDP 改定値が上方修正されたことを受けて、ダウ平均株価は序盤から堅調な動きとなり、一時取引時間中の最高値を更新した。しかし、ハイテク株中心のナスダックは序盤から軟調な動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、イエレン FRB 議長が追加利上げを続けることが適切との見解を示したことや、米 GDP が上方修正されたことを受けて、ドルが堅調な動きとなった。また、米株価や米国債利回りが上昇したことも加わり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。